

消費税増税と企業

貝原会計事務所 所長 貝原富美子

平成26年4月1日(火)から消費税率がアップし、5%から8%に改正となることが正式に決定されました。さらに平成27年10月1日(木)から10%に変更されます。企業にとっても、いろいろと面倒なことが起こります。早目に準備を進めておきましょう。

1. 価格表示

税抜・税込(総額)表示のどちらでもいいことになりました。しかし選択によっては、商いの上での売れ行きや1品当りの利益に影響を受けます。業種や販売場所を考慮して慎重に決めましょう。

2. 転稼

転稼がスムーズに出きるかどうかは、販売場所や得意先の影響があります。政府は、弱い立場の中小企業や下請企業が転稼拒否を受けないための法律や体制を作ってはいます。でも現実には、自社として知恵・工夫・交渉力で努力されることが必要でしょう。

3. 事務手続

販売管理用パソコンのソフトのチェックが必要です。また、取引の慣行で20日締めなどの企業は平成26年4月分の請求書について、平成26年3月21日(金)～3月31日(月)、平成26年4月1日(火)～4月20日(日)という2回に分割して作成することが求められます。

4. 納税資金

企業が自社で負担して、消費税を納税することにはなりません。しかし、実際の資金繰り上げは負担することが多いと思われれます。

売掛金の締日、回収日、そして手形サイトを考慮すると納付期日より売掛金が資金化できる日は、かなり遅れるケースもあります。納税が遅れると延滞税などの加算税も付加され、金融機関からの融資審査にもマイナス点となります。消費税率がアップすることは、決算や予定納税で納付する税額も増えることとなります。資金繰りに消費税を計上するのを忘れないでください。

企業にとって、消費税増税は、何か負担ばかりがある印象があります。ただ、これで本当に日本が良い方向に向かえばと受け止めたものです。



平成25年度の主な事業予定(後半)

平成25年

- 11月12日(火) 北部ブロック研修会
- 11月25日(月) 【大阪府女性会連合会】研修交流会
- 11月29日(金) 視察研修会
～30日(土)

平成26年

- 1月20日(月) 新年互礼会
- 2月4日(火) 経営事例発表会
- 3月6日(木) 【大阪府女性会連合会】総会&講演会

◆編◆集◆後◆記◆

今年度より、さまざまな取り組みが各委員会で積極的に行われるようになりました。

広報では文章講座を開催し、委員全員が文章について校正のポイントが共通化することができました。そのおかげで委員会もスムーズで効率がよくなりました。

また、委員会の懇親食事会では、皆さんの近況をお話することでお互いを知る機会が増え、参加する一人ひとりの会社が分かり、より親しくなっています。会全体としては、NOWを通じて女性会の活動のようすが、分かりやすく伝わることを目指しています。(広報委員会)

※掲載している役職は、全て開催当時のものです。



大商女性会 編集発行/大阪商工会議所女性会(大阪商工会議所総務広報部内)
〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-8 TEL:06-6944-6211 FAX:06-6944-6250

平成25年度通常総会

株社員教育総合研究所 代表取締役社長 長尾依子

平成25年6月28日(金)の午前11時15分～午後2時30分まで、帝国ホテル大阪「孔雀東の間」で大阪商工会議所女性会 通常総会が開催され、117名の会員が参集しました。

まず「商工会議所女性会の歌」の斉唱、「商工会議所女性会活動指針」の唱和からです。そして池上淳子大商女性会会長の会員の皆さまへの感謝にあふれた開会のご挨拶に引き続き、尾崎公子名誉会長が思いを熱く語られました。

本年度から、総務委員会担当副会長、正副委員長が司会進行と議事説明を担当され、議案はともに原案どおり承認されました。



そのあと佐藤茂雄大阪商工会議所会頭の来賓ご挨拶・乾杯のご発声です。いつもながらの愛情あふれるお言葉と乾杯に続いて懇親会が始まり、参加者も和やかに、相互に交流を深めました。

続いて、井上慎一ピーチアピエーション株式会社代表取締役CEOの「～アジアの懸け橋 LOVE&PEACH～「Peach」の航空イノベーション」と題した講演会。創業のご苦労や、安全と安心への取り組み、LCCならではの今後の展望などを具体的に伺うことができ、経営者としての求心力にも感動いたしました。とても有意義な内容で通常総会は締めくくられ、定刻に閉会いたしました。

特別能楽体験鑑賞会・昼食会

弁護士法人近畿中央法律事務所 弁護士 阪口英子

平成25年4月8日(月)、大商女性会・総務委員会主催の特別能楽体験鑑賞会昼食会が行われました。当日は、60名の会員が参加されて大盛況の会となりました。

今回、見学をさせていただいた公益財団法人山本能楽堂は、大阪で現存する最も古い能楽堂とのことです。歴史ある立派な能舞台を間近に拝見しながら昼食をいただいたあと、山本章弘山本能楽堂代表理事・観世流能楽師から、山本能楽堂の成り立ち、能や能面、謡についての解説を受けました。また、謡の体験や能装束の着付けの実演、囃子方による楽器の解説・実演などもありました。そして、いよいよ「羽衣」のダイジェスト版の実演です。壮麗な能装束を身に着けた天人の儼かな舞に、しばし室町時代にタイムスリップしたような気持ちを味わうことができました。



山本さまや囃子方の丁寧で分かりやすい解説のおかげで、今回の能楽鑑賞は、まったくの能楽初心者にも十二分に楽しめる内容になっていました。

山本能楽堂では、大阪商工会議所が共催する「初心者のための上方伝統芸能ナイト」などの催しものを定期的にしておられるようです。今回、残念ながら鑑賞会に参加できなかったという方は、こちらで能楽体験をされてはいかがでしょうか。

第25回近畿商工会議所女性会連合会総会・京都大会

Life Style Producer 代表 鈴木啓恵

平成25年6月7日(金)、ウェスティン都ホテル京都に福井・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山から平成ハンサム女性経営者総勢770名が集いました。

ドナルドキーン氏をして「果てしなく美しい日本」と言わせた、その象徴のみやこ「京都」。咲き誇る色鮮やかな紫陽花や菖蒲花など、主催者側の心こもるおもてなしを受けました。



国歌斉唱で始まり、池上連合会会長、中西京都会長挨拶に続き、来賓の山田啓二京都府知事は「アベノミクスはまだまだ明と暗があるも、地域が元気にならねば…、とくに若者と女性がその力を発揮してほしい」と語られた。塚本稔同副市長は「福祉の向上、青少年の育成、保健所の増加などを思索中。そして皆さま方には信念を持ってしっかりと生き抜く女性であってほしい」。さらに立石義雄同商工会議所会頭は「日本文化と京都産業の特長など、守るべきものを守りながら新しいスタイルを創造する経営方法を哲学としている」と力説された。

人の生き方・暮らし方の知恵と、歴史ある匠の技を和して知恵産業をやり続けるというのは、我が大阪府下も同意同調であると思ひながらお伺いしていました。

吉川稲全国連合会会長は、東北震災復興政策や支援が遅れているので支援や力添への要請と、女性経営者の資質向上や地域産業との連携を提唱されました。

次に、色分けされた袴とハンカチを持った各地域の女性会の紹介です。大阪は水の都にふさわしい水色で高いの品格をアピールしました。

今回の開催地は大阪です。尾崎公子大阪名誉会長の元気な挨拶のあと、「お待ちしていま〜す！」と大阪府内女性会全員でハンカチを振るといふ演出で、和やかでチャームな雰囲気が会場いっぱいになりました。

そしてワコールホールディングスの塚本能交代取締役社長の講演です。その洒脱な語り口に全員が引き込まれました。

最後のアトラクションは、祇園甲部の芸者衆方の京地唄舞「祝獅子」。主催者の心づくしの演出で始まりました。15名の芸者衆の凛とした地かたと舞姿の粋さを見て「芸道とは哲学である」と感じ入りました。

会食後、場所を替えての物産展では、名物に嬉々として物色しきり。日本の文化の頂点ともいえる古都での連合会は、大変意義のある1日になりました。

全国商工会議所女性会連合会宮城全国大会

(株)日宣 代表取締役 古澤みちよ

平成25年9月5日(木)・6日(金)、まだまだ復興半ばで厳しい状況が続く仙台で、「ありがとう！明るい未来につなげる絆」をテーマに約3,500名の女性会会員が全国商工会議所女性会連合会 宮城全国大会に集いました。

1日目のキリンビール仙台工場では、復興へのさまざまな活動の中、企業の地元への貢献に感動するとともに震災を再認識。その後、尾崎名誉会長の力強い乾杯の音頭でスタートした懇親会では、大阪女性会も大いに活気づきました。

2日目は全国大会、川島隆太東北大学加齢医学研究所教授の記念講演会。そして東北各県の祭りの再現という郷土色豊かで、心のこもったおもてなしを受けたあと、平賀宮城県商工会議所女性会連合会会長のご挨拶。お話のなかで「ありがとう」と終始繰り返される姿に感銘を受けました。



全国津々浦々から女性会会員が一同に会することで、お互いを尊重し合って絆が深まり、明るい未来へとつながっていく…。このような会議が開催されることで新たな経済活動が生まれ、地域の活性化につながっていくということを体験した素晴らしい2日間となりました。

少しでも復興のお役に立てればと、会場の物産展や空港で、たくさんのお土産を買って帰路につきました。

最後に、特別功労者として上西前会長が表彰されましたことを敬意と感謝と喜びをもってご報告させていただきます。



経営事例発表会 (平成25年10月21日(月)10月例会)

三和通産(株)代表取締役 中根 三恵子さんのお話をお聞きして

(株)アル・コネクションプロダクツ 代表取締役 中西理翔

先日、三和通産株式会社 代表取締役中根三恵子さんの「受動的事業承継から攻めの経営へ」をお聞きしました。不動産会社で働いておられた中根さんは、仕事も遊びも全力投球という青春時代を過ごされ、ご家族のたつての願いで当時家族経営であった同社に入社されます。

しかしその後、ご兄弟の相次ぐ退社で、経営を引き継がれることに。それからは精神的な意味でも、じっさいの作業でも時間を惜しむように走り回っておられました。そのため常に街を走っているヒトというイメージが定着し、ご近所でも評判になるほど、全力疾走だったようです。

社運をかけた当時の一大事業であり、その後の道へとつながる「分譲マンションの開発・販売事業」のスタートが大きな転機になったと話されました。それと時を同じくして24時間、仕事に追われる日々を経て、代表取締役に就任されます。

いまの軸である自社ブランドのデザイナーズマンションの開発は、お客さまの視線に合わせたプラン作り、住む人にステータスや誇りを感じていただけるという、ひと味違うマンションを創造することをコンセプトにされています。

このデザイナーズマンションをシリーズ化され、見事に成功されました。管理会社も設けられてトータルサービスグループを構築されたことは、とても素晴らしいです。

最初の段階では、前職のOBの方々を営業部隊にされました。いまは社内で一から営業を育て、さらにはスタッフと常にコンセプトや理念がぶれないように語り合っておられます。この行動スタイルは、今後の新しいリーダーの形となるでしょう。

いつも事例発表をお伺いして思うことは、女性会の皆さまは苦勞など皆無だったかのように振る舞われるその姿はとても素晴らしいと思いました。



近畿精機工業(株)会長 角谷 律子さんのお話をお聞きして

(株)笹川薬局 代表取締役 笹川悦子



・戦中・戦後

空襲で、同僚が亡くなられるなどの悲しい出来事を経験された戦時中を経て、戦後、角谷家に嫁がれ、ご子息たちを授けられました。

・お仕事

昭和25年、ご主人が近畿精機工業株式会社を創業。平成元年に、ご主人が亡くなられ、いろいろ悩まれたそうです。その結果、番頭格の従業員とともに会社の継続を決心されました。

そんな中で従業員からは「この会社は、番頭と従業員で持っている」と言われたことも…ここは我慢しないと辛抱されたそうです。

いまではご息子が社長に就任され、角谷さんは経験を伝える側になりました。時間に余裕ができ、船旅などでいろんな国々を旅行されています。旅先で見つけたペルシャ絨毯を旅行カバンに詰め込んで、ご自分で持ち帰られたり…と、大いに楽しまれています。

また、ボランティア活動団体パイロットの会長時には、3.11大震災へのチャリティーゴルフコンペなどを開催されて寄金集めもされています。

・お話の結び

これまでを振り返られて、仕事はもちろん、病気を乗り越えて知った「健康であれば、仕事が楽しくなる」ということや、友情に恵まれ「友だちは、心の財産」、であるということを実感しているとお話されました。

そして「どうぞ、よく学び、よく遊びで、真理を見つけてください」と結ばれました。

